榊山神社だより

平成20年
5月

神社だより発行について

これまでも年に一度の決算報告はおこなってきましたが、会計報告以外に、もう少し細かく神社の動向をお知らせしたいと思い、それには新聞方式が最もわかりやすいかと、この「たより」を発行してみました。紙面に限度がありますので一度に多くはお知らせできませんが、これからは年に一回程度、決算書と同時に発行できるよう予定しています。少しでもお役に立てれば幸いです。（氏子総代一同）

伊勢神宮参拝旅行

福岡部会では今年も新年の伊勢参り旅行を一月十四、十五日に実施しました。初詣に氏神様へは行けても、お伊勢参りはまだまだという方も多いと思います。昔は歩いて、何日もかけて出かけた人もいたそうです。それに比べると今は格段に便利です。一度は行かれたらいかがでしょう。今年は参加人数が少なめでしたが、それでも田瀬二十八名、下野二十八名、福岡五十名、高山三十三名、合計百四十九名が参加バス五台を連ねての旅でした。なお今年も十回以上の参加者が福岡部会で九名あり、神社庁から感謝状と記念品が贈られました。その内、福岡区の被表彰者は次の方です。

二十回表彰　柘植寛さん（野尻）
十回表彰　深谷充芳さん（植苗木）

来年の伊勢参りは

今から来年の話は鬼に笑われるかもしれませんが、ホテル予約の関係上、来年春の伊勢参り旅行は次のように予定しています。

平成二十一年一月十六、十七日
二日目の行程　京都の平安神宮と伏見稲荷大社参拝を予定しています。

大勢のご参加をお願いします。

禰宜（ねぎ）の西尾亮造さんが引退

永年　榊山神社の神職、禰宜として務められた植苗木の西尾亮造さんが体調不良により昨年の例大祭前に引退されました。JAを定年後に神職の資格を取得、神社の祭事に、氏子の慶弔時にと骨身を惜しまず貢献されましたが誠に残念です。

現在、榊山神社の神職は宮司の深谷昭二さん、権禰宜の深谷耕平さんの二人が務めておられます。

総代長の丹羽さんが退任

氏子総代を四年、総代長として十四年務められました丹羽秀彦さんが昨年、平成十八年度末をもって退任されました。福岡部会の部会長として、また神社庁中津川市支部の理事として大役を全うしてこられましたが、体調不良とはいえ誠に残念です。今後は健康に留意されて、神社に対して今までと同様のご指導をお願いします。

奉納者のご紹介

平成十九年度も多くの方から金品のご奉納をいただきましたので御紹介いたします。

近年では平成十八年に野尻町内の故可知優さんの遺志を継いで息子の秀実さんから三百五十万円の寄付がありました。この一年の間に受けたご奉納の種類と奉納者は次のとおりです。

一、「境内の石灯篭一対（二基）及び金二十万円」
昭和二十三、二十四年生れの還暦を迎えられる方、九十三名様
一、「金二十四万円」
昭和四十二、四十三年生れ、厄年の男性二十四名様
一、「手水舎用の柄杓十個」
丹羽昭二様（山の田）
一、「手縫いの雑巾二十枚」
西尾きよ様（山の田）
（毎年奉納されています）
一、「富くじ舎組立用工具二丁」
西尾久雄様（田の尻）

皆さん、有難うございました。

神社の建物修理

神社ではこの一年も建物等の修理を余儀なくされました。

一、社務所の屋根、樋の修理
四万九千円
一、社務所の縁の下、獣よけ工事
二万二千円
一、拝殿横の神饌所土台等の修理
一、中段末社の建物土台等修理
一、社務所東側、壁のトタン張り
三箇所合計　百二十万六千円

これらに掛かる費用は営繕費と不足分は基金で補てんしました。基金も乏しく、将来が心配です。

伊勢神宮式年遷宮について

これは、お伊勢さまの社殿、ご装束、神宝等を古来のままに新しく調える行事です。完成は平成二十五年十月に予定されています。昨年、神社庁中津川市支部では奉賛会が設立され、現在奉賛金の募集をおこなっていますが、福岡部会でも氏子総代が主になってみなさんにお願いしております。

既にこれまでに奉賛活動の終わった町内会もあります。詳しくは別途配布の「式年遷宮設立趣意書」をお読みいただき、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

永代供養の受付

榊山神社では事情があって御霊を自宅でお守りできない方に代わって位牌を預かり、永代供養できるよう氏子会館改築時に位牌所を設けました。

申込がありますと、審査会を経て受入れております。既に三家の入所があります。費用は一家三十万円を基準とします。

なお、墓の無い方のための納骨所の設置について、いろいろ検討して参りましたが、長根墓地に空き地が見つかり、四月十一日に「氏子祖霊之墓」としてお墓が完成しました。建設費は墓地の権利金等を含めて八十二万円掛かりました。利用費は納骨時に五万円を基準とします。機会がありましたら一度見てください。

今年の例大祭は七月二七日

今年のお祭りは七月二十六日が宵祭、二十七日が本祭りとなります。祭り当番は、祭元が川西地区、富くじが元中組地区、余興は元野尻地区です。今年もよいお祭が出来ますよう期待します。